

NCF 空間ディスプレイ分野 助成金事業

2026

助成対象

1 研究助成

当財団が示す空間ディスプレイ分野の研究を志す
大学等研究機関の研究者

2 教育普及活動助成

当財団が示す空間ディスプレイ分野及び関連の教育普及
事業（一般展示を含む）を行う博物館・学会等

人×空間

助成金総額

500万円（5件 各100万円）程度

エントリー締切

2025年11月5日（水）

応募書類受付期間

2025年11月5日（水）～ 11月11日（火）

※応募書類一式は、データと紙書類、共に提出が必要です
データ11/7（金）昼12:00締切、郵送11/11（火）必着

注意事項 必ず乃村文化財団ホームページのQ&Aをご確認ください

※応募作品には、空間ディスプレイデザインについての探求や実現の成果が想定されていることが重要です

※助成金受給口座については、研究機関（所属する大学、博物館、学会）にて予めご確認ください



公益
財団
法人 **乃村文化財団**
NOMURA CULTURE FOUNDATION

空間ディスプレイとは

ディスプレイは、人と人、人と物、人と情報をつなぎ豊かな価値を創造する空間を媒体としたコミュニケーション手段のひとつです。
乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えています。

助成プログラム

空間ディスプレイ分野をテーマとし、創造性、計画性、実現性、具体性ある手法等による、一貫した論理的な研究および展示等教育普及活動の企画等に対して助成するものです。

1. 研究助成

対象：当財団が示す空間ディスプレイ分野の研究を志す大学等研究機関の研究者
用途：空間ディスプレイ分野の研究のために必要とされる経費

2. 教育普及活動助成

対象：当財団が示す空間ディスプレイ分野及び関連の教育普及事業を行う、博物館・学会等
用途：空間ディスプレイ分野及び関連の教育普及事業を実施するために必要とされる経費

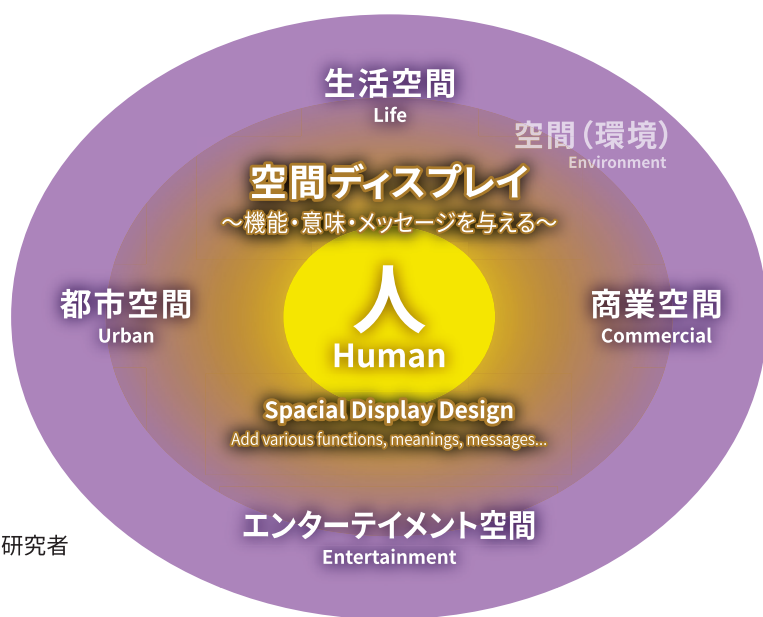


図1: 多様な空間に対して機能や意味やメッセージを与える『空間ディスプレイ』分野のイメージ

NCF助成金事業 概要

助成対象期間

2026年4月1日から2027年3月31日までに実施されるもの
※助成金給付時期は、2026年4月30日頃を予定

助成金額

総額500万円(年間5件程度)
1件につき、100万円程度としています

選考方法

選考委員会による書類審査ののち、理事会で正式に承認されます

審査基準

審査は、以下のような点に着目し評価します

- (1) 研究および教育普及活動の実施方針等の審査
研究・活動の実績、実施体制、実施計画、実施方法、使途見積額について、各項目の内容を審査します
- (2) 研究および教育普及活動の内容の審査
研究・活動の方向性、実現性ある技術、持続性、効果、社会的ニーズについて、各項目の内容を審査します

応募方法

- (1) エントリー
応募の意思がある方は、事前に財団ホームページの専用フォームからエントリーしてください。2025年11月5日(水)まで
- (2) 応募書類
財団ホームページから所定の申請書等一式をダウンロードして、メールと郵送の両方で申請をしていただきます
当財団事務局宛てに、申請書類一式のデータ(5MB以内)送信と、原本およびコピー5部(計6部)の郵送をしてください
- (3) 応募書類受付期間
データ申請: 2025年11月5日(水)~11月7日(金) 昼12:00締切
書類送付: 2025年11月11日(火) 必着

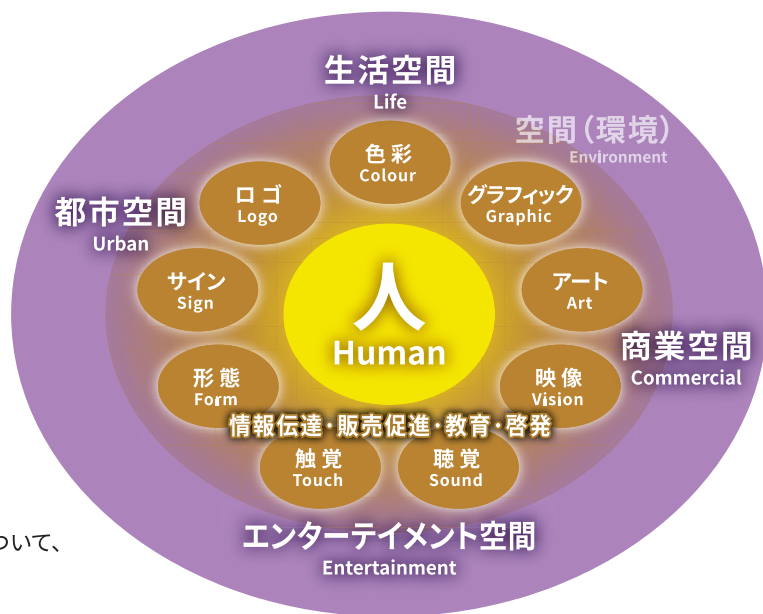


図2: 空間を媒体としたコミュニケーション手段としての『ディスプレイ』のイメージ

↓詳しい応募方法は乃村文化財団ホームページをご覧ください



【お問い合わせ】
公益財団法人乃村文化財団
〒135-0091 東京都港区台場2-3-4 (乃村工芸社本社内)
代表メール info@nomura-cf.jp



公益財団法人
乃村文化財団
NOMURA CULTURE FOUNDATION